

記者発表資料

「R3国道4号西那須野道路西富山地区外改良工事」において、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」を試行、工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を拡大します。また、「見積活用方式」、「余裕期間制度(フレックス)」、「施工箇所が点在する工事の積算」、「難工事指定」を採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道4号西那須野道路西富山地区外改良工事」については、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」を試行するとともに、以下の対策を採用します。

①「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「競争参加資格の地域要件の拡大」

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を拡大し、「栃木県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に加えて、「茨城県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業を対象とします。

③「見積活用方式」

本工事箇所は交差点付近であり、現道交通を確保しながら狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

④「余裕期間制度(フレックス)」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者の確保等の準備を行うことが出来る余裕期間を設定する制度です。

⑤「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在するため、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

⑥「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ

お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

副所長 : さとう たかし 工務課長 えいらい りょうご
電話 : 028-638-2181 (代表)

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R3国道4号西那須野道路西富山地区外改良工事
- (2) 工事場所：栃木県那須塩原市西富山地先 外1箇所
- (3) 工 期：契約締結の翌日から令和4年6月30日まで（予定）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：一般土木工事 Cランク
- (6) 工事内容（概要）

道路改良【西富山地区】 1式

道路土工【横林用水】 約230m³、地盤改良工【横林用水】 約360m²、
舗装工【横林用水】・【津室川】 約3,050m²、横断付替水路【横林用水】 37m、
横断付替水路【津室川】 11m、防護柵工【横林用水】・【津室川】 約1,422m、
仮設工【横林用水】・【津室川】 1式、等

道路改良【東三島地区】 1式

道路土工【南郷屋堀】 約67m³、横断付替水路【南郷屋堀】 52m、
舗装工【南郷屋堀】 約450m²、仮設工【南郷屋堀】 1式、等

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《競争参加資格の地域要件の拡大》

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を拡大し、「栃木県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に加えて、「茨城県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業を対象とします。

《見積活用方式の試行》

本工事箇所である横林用水、津室川については、交差点付近であり、現道交通を確保しながら狭い作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下し、標準積算と乖離が生じることが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される「横林用水」、「津室川」にて施工する「仮設工（「路面覆工」、「土留・仮締切工」）」選定しています。

《余裕期間制度（フレックス）の活用》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年6月30日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《施工箇所が点在する工事の積算》

本工事は、施工箇所が点在するため、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

《難工事指定の採用》

本工事は、河川、水路3箇所の施工箇所点在であり、管理者が異なるため、それぞれの協議が必要で、社会条件やマネジメント特性の厳しい工事であることから、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | ： 令和 3年 7月 15日（木） |
| ○競争参加資格確認申請書等 提出期限 | ： 令和 3年 8月 2日（月） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | ： 令和 3年 9月 2日（木） |
| ○開札日 | ： 令和 3年 9月 7日（火） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示 (工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし
技術者要件は求めない



指名基準による選定



発注(指名通知) 以降は指名競争総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上